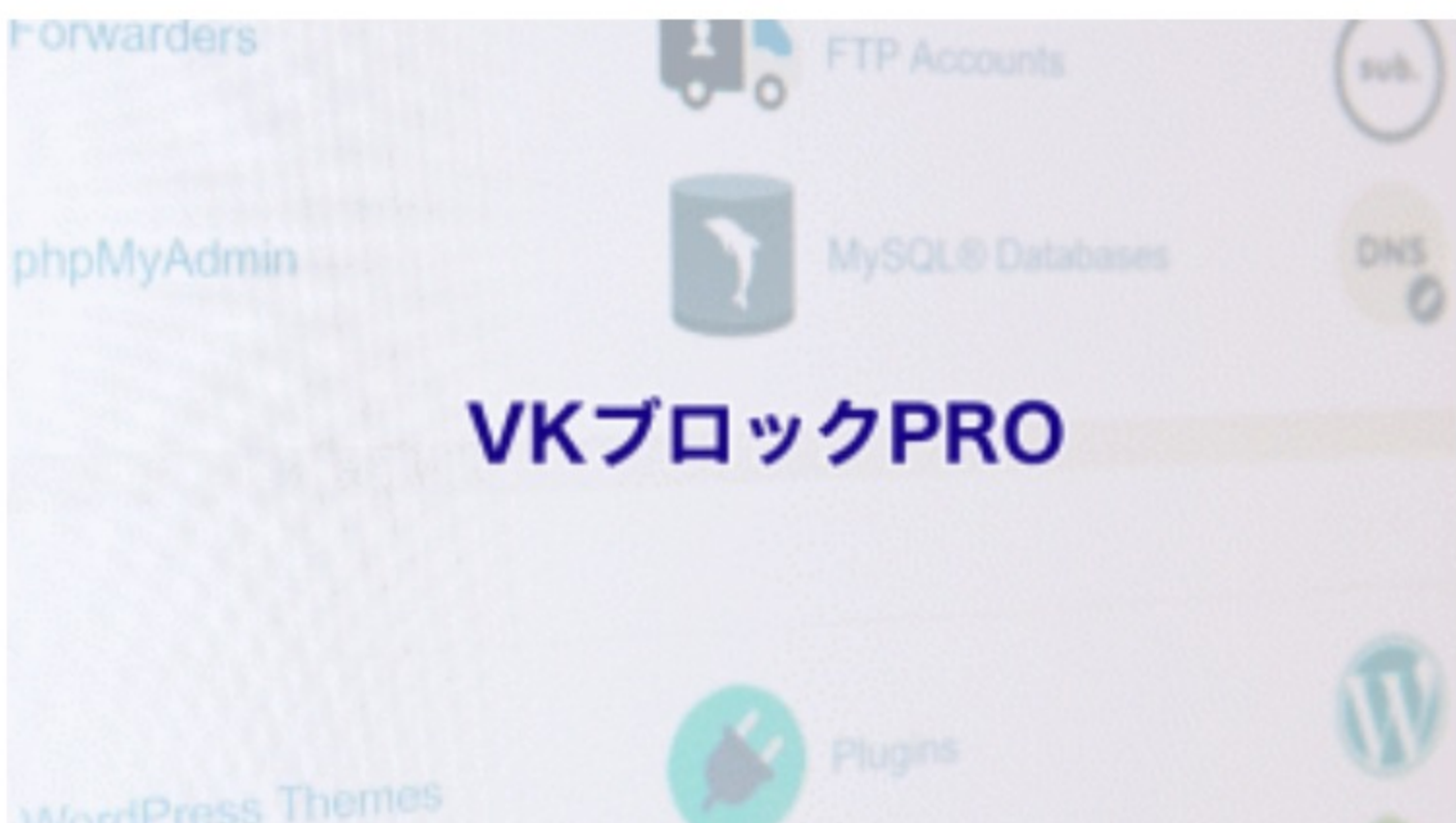


ブロックエディタ（Gutenberg）VKブロックPRO子ページ一覧のマニュアル

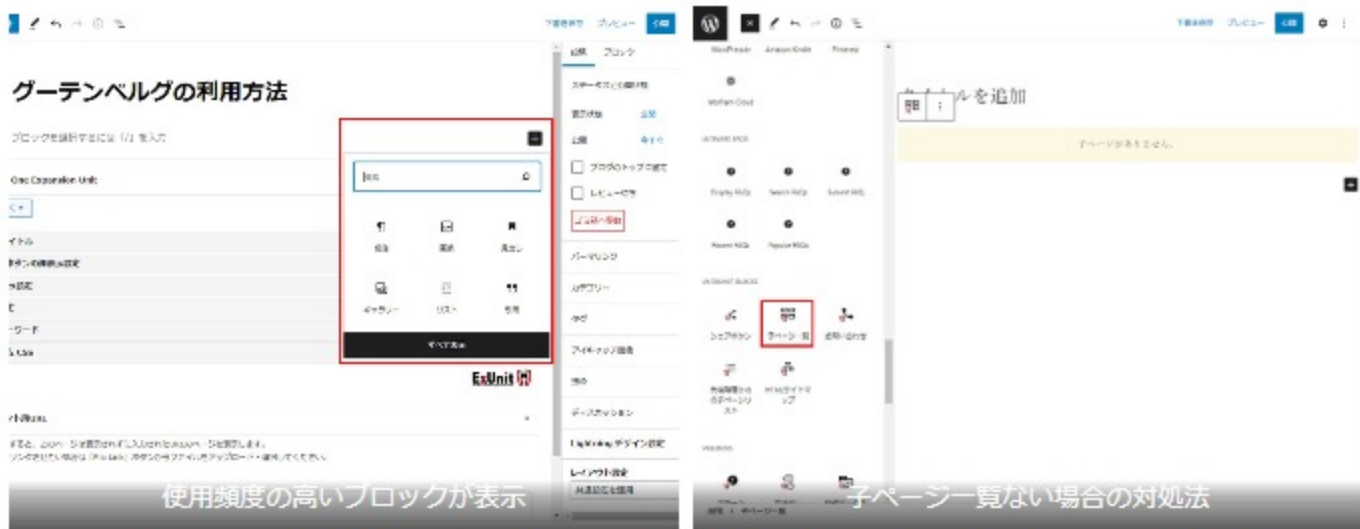


おすすめ度



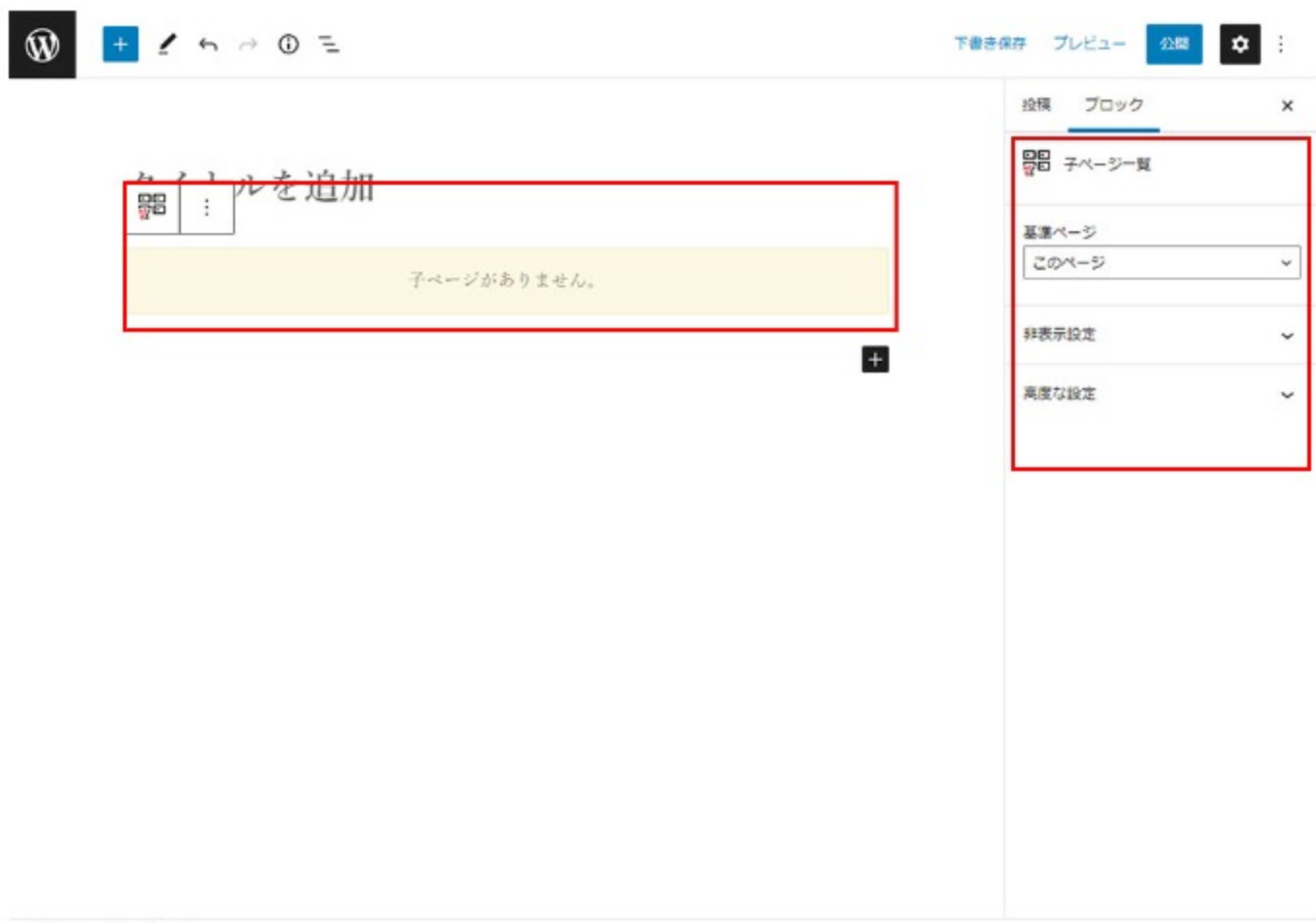
図表による使い方マニュアル

STEP 1 挿入



ブロックの挿入は+アイコンをクリックしてブロックを挿入。赤枠の中から「子ページ一覧」を選択。

STEP 2 子ページ一覧設定



子ページ一覧設定画面

設定方法は右側のサイドバーに表示されます。
※もし表示されていない場合は画面右上のギアのマークをクリックすると表示されます。

子ページ一覧設定できる内容

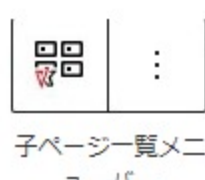
ブロック挿入時の場合

基準ページの設定

非表示設定：画面サイズにより設定を表示もしくは未表示の設定が可能

高度な設定：HTMLアンカー（ページ内リンクのみだ歳の設定）、追加CSSのクラス名の指定（.○○の先頭部分の.ドット部分は省略。複数クラスを半角スペースで区切ります。）

子ページ一覧 挿入時（メニューバー）の設定



子ページ一覧 選択アイコン



子ページ一覧選択肢

子ページ一覧現在選択されているブロック名

挿入するブロックを間違えた場合は、他のブロックに変更できる。があまり選択肢の幅はない。よく使うブロックに限られる。その為このブロックを削除して改めて選択し直す必要があります。

子ページ一覧 ブロック編集



子ページ一覧ブロック編集

子ページ一覧設定できる内容

コピー：ブロックのコピー。段落挿入後張り付けるとコピーされる。

複製：ブロックの複製。同じ内容が複製（コピー）でき上段の作業を1回で行えるメリットがあります。

前に挿入：現在のブロックの前に新たなボックスを挿入することが出来ます。

後に挿入：現在のブロックの後に新たなボックスを挿入することが出来ます。

移動：ブロックの移動

HTMLとして編集

再利用ブロックに追加：該当ブロックを登録して再利用が行えるように登録する。※テーマプラグインにより表示されない場合がある。

グループ化：複数のブロックをまとめる事が出来る。

ブロックを削除

子ページ一覧 まとめ

子ページ一覧はいかがでしたか？実務ではあまり使う頻度は少ないと思いますが、実際に「子ページ一覧」を使用すると違った発見があるかもしれませんのでご自身で積極的に「子ページ一覧」をお試ください。